



心を込めて別れの歌

自信と誇り胸に学び舎巣立つ

3月10日 第52回東部中学校卒業式(式歌斉唱「友～旅立ちの時～」)



ようこそ!
花のまちしもつまへ



同日開催

2017

5/21

日

予備日
5/28日

第26回花とふれあいまつり

第21回Eボート大会

茨城県
大会

時間 AM10:00～PM3:00 場所 鬼怒フラワーライン

イベント会場アクセスMAP & シャトルバス運行時刻表



花とふれあいまつり無料シャトルバス運行時刻表	平成29年5月21日(日)					
停留所	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便
下妻駅	9:00	10:00	11:00	13:00	14:00	15:00
鬼怒フラワーライン	9:20	10:20	11:20	13:20	14:20	15:20
鬼怒フラワーライン	9:30	10:30	11:30	13:30	14:30	15:30
下妻駅	9:50	10:50	11:50	13:50	14:50	15:50



※Eボートは、2019年茨城国体で、下妻市を会場にデモンストラションスポーツとして実施します。

■花とふれあいまつり/主催:花と一万人の会
■Eボート大会/主催:下妻市、下妻市ふるさとづくり推進協議会、鬼怒川流域交流Eボート大会実行委員会
■問合せ先/下妻市商工観光課 TEL0296-44-0732

平成29年度 下妻市の予算

平成29年第1回下妻市議会定例会（3月議会）で、下妻市の平成29年度当初予算が決まりました。一般会計の予算額は159億1,000万円で、前年比11.3%の減。特別会計と水道事業会計を合わせた予算の総額は286億7,090万円で前年比6.9%の減となっています。第1回下妻市議会定例会での市長施政方針（一部抜粋）と第5次下妻市総合計画に基づいた主な予算について紹介します。

平成29年度 市長施政方針 みんなで創ろう活き活き下妻

下妻市長 稲葉 本治



私 が市長として市政の舵取りを務めさせていたから、2期7年が経過しようとしています。就任以来、「みんなで創ろう活き活き下妻」を目標として、活力あるまちづくりを進めてまいりました。

見受けられます。地方経済はその閉塞感からなかなか脱却できずにおりますが、私は就任以来一貫して、下妻市を元気なまちにして、市民の皆さまがプライドをもつて「下妻市民です」と言えるまちづくりを進めてまいりました。

東 京一極集中を是正し、地方への人の流れを作つて地方を活性化させる、いわゆる「地方創生」については、本市に限らず全国の自治体が人口減少対策と定住促進に対応する人口ビジョン並びに総合戦略を策定し各種施策を展開しております。

第一に、本市の将来を見据え、持続可能なまちづくりを進めていく上で、喫緊の課題であった財政改革に取り組み、就任当時17・6%であった実質公債費比率を平成27年度末には9・6%に、また、経常収支比率も94・4%から87・7%に改善し、一時の危機的状況から脱することができました。しかし、まだまだ予算を許す状況ではなく、今後も財政バランスに注意を払った市政運営を行っていきたくと考えているところです。

安 全で安心なまちづくりを目標に掲げ、特に子ども達の安全・安心を最優先に考え、学校、幼稚園、保育園の耐震化とリニューアルを計画的に進めてまいりました。現在、改築工事を進めている下妻中学校の校舎が完成しますと、市内すべての学校施設の耐震化が終了し、子ども達の安全・安心な環境が整うこととなります。さらに、老朽化が進んでいた総合体育館の耐震化・リニューアル工事も終了し、安全で快適な体育施設として運用されております。

本 年1月23日からは、「シモンちゃんバス」が実

証運行を開始いたしました。オープンを控えたまちなかの両施設と、東の小貝川ふれあい公園、西のピアスパークしもつまを結んだルートで運行し、市内観光施設を来訪される方の足として、また、高齢化社会を迎え、市内施設や医療機関を利用するための新しい公共交通としての役割を担うものと考えております。

このチャンスを、本市の魅力を広げ発信し、観光・交流人口の増加や市外からの定住促進につなげていくとともに、引き続きトップセールスによる企業誘致、基幹産業である農産物のブランド化や海外販路拡大に挑み、農・工・商のバランスが取れたまちとして、着実な発展を目指してまいります。

その他、「健幸都市しもつま」づくりのため、中学3年生までの医療費無料化や各種検診・予防接種の助成など、子育て世代にやさしい施策を展開するとともに、「砂沼荘」の全館リニューアルを実施し、砂沼を生かしたウォーキングなど「健幸都市しもつま」の発信基地として、その機能を充実させながら本市の魅力度をアップにも努めております。

このように、2月26日には、圏央道の境古河インターチェンジとつくば中央インターチェンジ区間28・5kmが開通し、茨城県区間が全線開通となりました。これにより関東各地へのアクセス性が向上し、観光周遊の促進が期待されることともに、成田空港経由

の訪日外国人旅行需要の取り込みや埼玉県・千葉県からの交流人口の増大、沿線に立地する工場や大型物流施設の生産性向上の加速化などが見込まれ、人や物の流れが大きく変わるものと予想されます。

また、「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と実感していただけるようなまちづくりを全力で取り組んでまいります。

平成29年第1回下妻市議会定例会（平成29年3月1日）

（一部抜粋）

平成29年度当初予算の総括

区分	今年度予算額	前年度予算額	増減率(%)	
一般会計(1)	159億1,000万円	179億3,500万円	△11.3	
特別会計	国民健康保険	65億2,200万円	65億6,600万円	△0.7
	後期高齢者医療	3億7,300万円	3億6,800万円	1.4
	介護保険	32億6,900万円	32億7,600万円	△0.2
	介護サービス事業	570万円	870万円	△34.5
	下水道事業	9億9,600万円	9億7,300万円	2.4
	砂沼サンビーチ	1億7,700万円	2億円	△11.5
計(2)	113億4,270万円	113億9,170万円	△0.4	
水道事業会計(3)	14億1,820万円	14億7,181万5千円	△3.6	
合計(1)+(2)+(3)	286億7,090万円	307億9,851万5千円	△6.9	

一般会計

Q 市民1人あたりになるといくら使われているの？

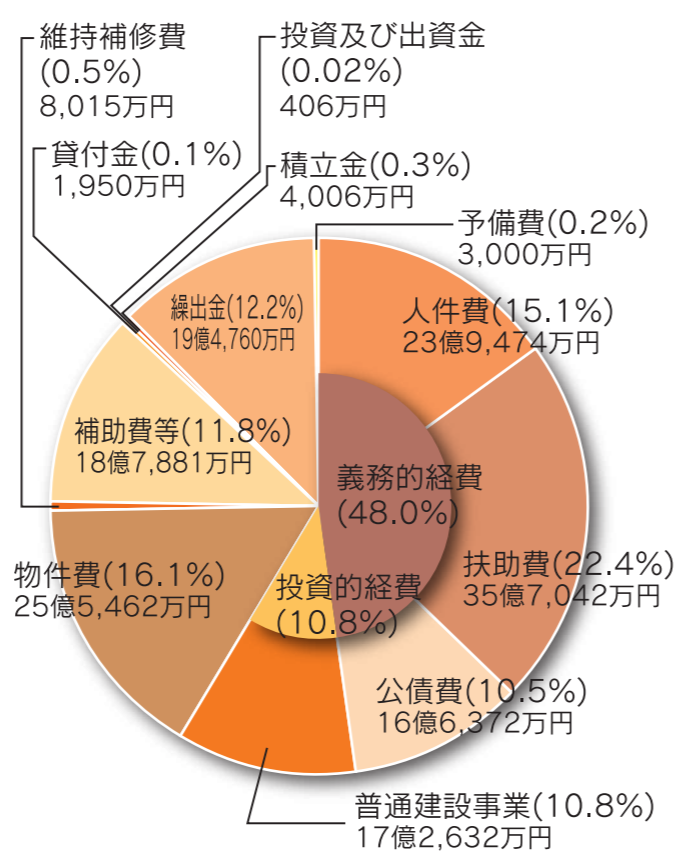
A 市民1人あたり、約37万円になります。
(平成29年1月1日現在の常住人口：42,933人)

■一般会計・歳入		■一般会計・歳出(性質別)	
項目	金額(円)	項目	金額(円)
市税	123,462	義務的経済費	
■一般会計・歳出(目的別)		人件費	55,778
項目	金額(円)	扶助費	83,163
議会費	4,896	公債費	38,752
総務費	38,272	投資的経費	
民生費	134,847	普通建設事業費	40,210
衛生費	25,680	災害復旧事業費	0
労働費	536	その他経費	
農業費	16,894	物件費	59,503
商工費	3,867	維持補修費	1,867
土木費	43,279	補助費等	43,761
消防費	16,711	積立金	933
教育費	46,144	投資・出資金	94
災害復旧費	0	貸出金	454
公債費	38,752	繰出金	45,364
予備費	699	予備費	699
計	370,577	計	370,577

市に納めていただいた税収約12万円に、国や県の補助金などを加えた金額を財源として、1人あたり約37万円の事務事業が行われます。

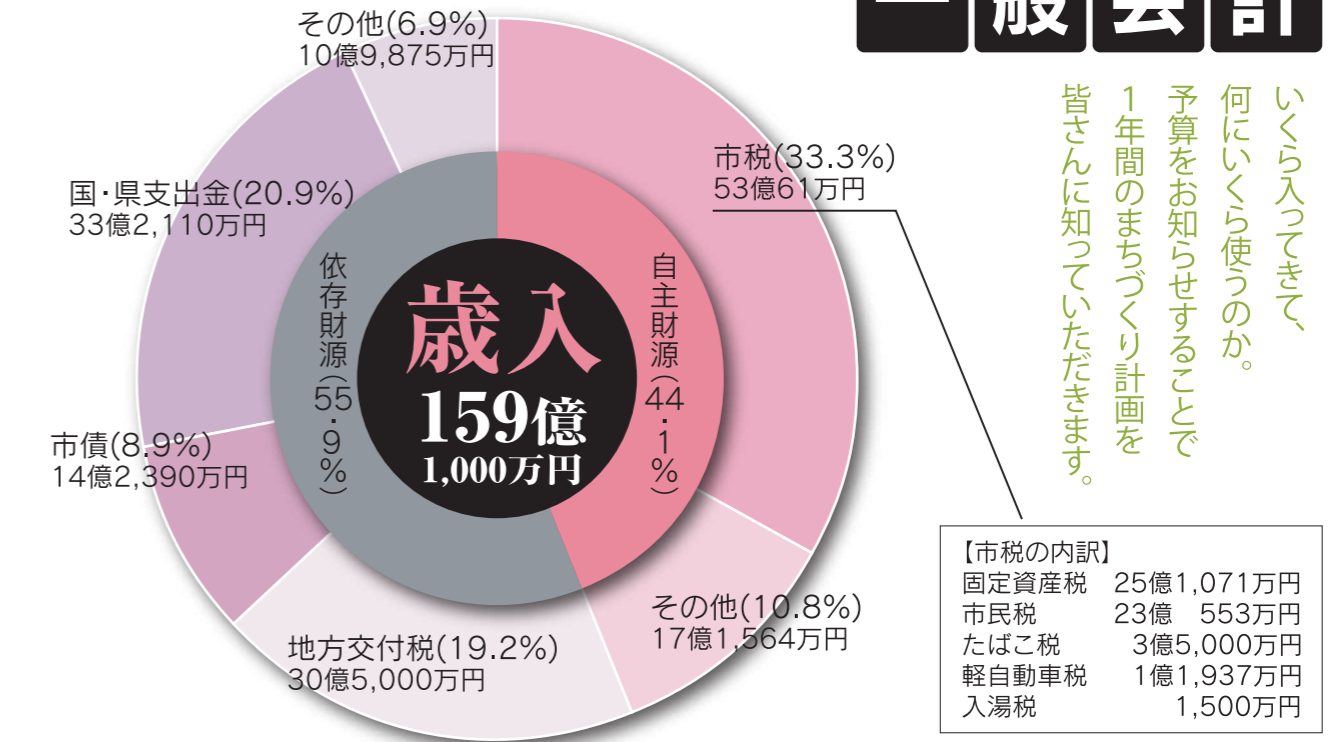
歳出(性質別)

159億1,000万円



義務的経費…議員の報酬や職員の給与、扶助費、市債の返済など、毎年必ず支出しなければならないお金

投資的経費…道路、学校などの建設や大規模改修など都市基盤の整備にかかるお金

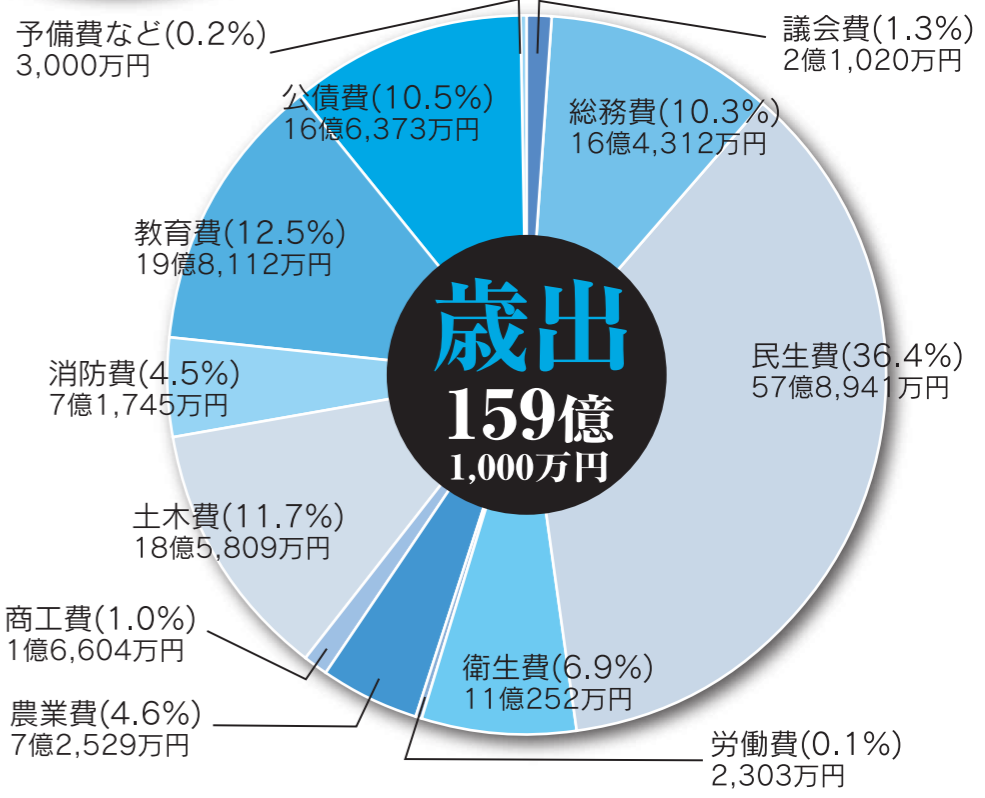


【市税の内訳】
固定資産税 25億1,071万円
市民税 23億553万円
たばこ税 3億5,000万円
軽自動車税 1億1,937万円
入湯税 1,500万円

▶歳入は「自主財源」と「依存財源」に分けることができます。

▶自主財源は、市が自主的に収入にすることができる財源のことで、市税、分担金・負担金、使用料・手数料などがあり、これが多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できます。平成29年度の一般会計では約70億円(44.1%)となっています。

▶依存財源は、地方交付税や市債、国・県支出金などで、今年度は一般会計では約89億円(55.9%)となっています。



歳入
自主財源
市税：市民の方から市に納めていただく税金
その他の自主財源：分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入など

依存財源
地方交付税：国が集めた税金から、全国の地方自治体が一定水準の行政を確保できるように財政力の低い団体に交付されるお金
国県支出金：特定の目的のため、国や県から交付されるお金
市債：特定の目的のため、国や銀行から借入れるお金
その他の依存財源：地方譲与税、地方消費税交付金、地方特例交付金、利子割・配当割交付金、交通安全対策特別交付金、株式等譲渡所得割交付金など

歳出
議会費：議員の報酬や議会の運営に
総務費：市政全般の管理に
民生費：高齢者・障害児者・児童などの福祉、保育所などに
衛生費：健診や予防接種、ごみ処理などに
労働費：労働者のための施設の設置管理などに
農業費：農林業の振興、農道整備などに
商工費：商工業の振興や観光推進などに
土木費：道路・河川・住宅・公園などの公共施設の整備や維持管理などに
消防費：火災や地震、風水害対策や消防施設に
教育費：学校や体育施設の建設管理、生涯学習、文化財保護などに
公債費：市債の返済金
予備費：緊急に支出を要する場合に使用
人件費：議員の報酬や職員の給与などに
扶助費：生活保護費、障害者支援費などの福祉や医療に
公債費：事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債(借金)の返済金
普通建設事業費：道路や学校などの整備に
物件費：光熱水費や消耗品費、通信運搬費、委託料などに
維持補修費：施設などの維持管理に
補助費等：一部事務組合に対する負担金や各種団体への補助金など
積立金：各種基金(貯金)へ積み立てるお金
投資及び出資金：水道事業会計への出資金など
貸付金：市が一時的に貸し付けられるお金
繰出金：国民健康保険や介護保険などの特別会計の収入を補うためのお金
予備費：緊急に支出を要する場合に使用

用語の説明

平成29年度下妻市の予算

平成29年度下妻市の予算

- ◎ 新規
 - 拡充
 - ◇ 継続
- ※表示金額は、万円未満を四捨五入して表示しています

目標3 人が生き生きと心豊かに暮らす文化創造都市を目指して
教育・文化の振興

◎英語教育推進事業 471万円

外国人英語指導助手を直接雇用し、授業支援、指導計画およびオリジナル教材の作成、英会話教室など、「キッズからシニアまで」各世代が英語に親しむ事業を実施し、英語のまちづくりに資する取り組みを行います。



外国人英語指導助手を活用した英語授業

◎訪問型家庭教育支援事業 80万円

地域の人材・保健福祉部等と協働の訪問型家庭教育支援チームを構築し、就学前の幼児を持つ家庭に相談員が訪問し、個別相談や情報提供を行っています。

◎柳原球場環境整備工事 358万円

平成31年開催の第74回国民体育大会において少年男子ソフトボール競技の会場となるのに合わせて改修工事を実施します。

◎千代川球場環境整備工事 3,179万円

平成31年開催の第74回国民体育大会において少年男子ソフトボール競技の会場となるのに合わせて改修工事を実施します。

◎あわら市との教育交流事業補助金 93万円

姉妹都市の「あわら市」に、児童生徒および教員を派遣し交流することで、両市の教育の発展と児童生徒の視野の拡大や友好を深めます。

目標4 快適に働く場がととのった産業活力都市を目指して
産業の振興

◎雇用促進奨励金 200万円

市内に工場などを新設または増設した事業者に対し、市内在住者を正社員として10人以上雇用した場合に1人当たり10万円の雇用促進奨励金を交付します。

◇ピアスパークしもつま管理運営事業 6,000万円

農業および産業の振興・発展の拠点として、さらに魅力ある施設とすべく、業務の効率化、サービス向上のため指定管理による運営を行います。

◇新規就農・経営継承総合支援事業 4,505万円

経済リスクを負っている新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間、45歳未満で新規就農する場合に青年就農給付金を年間最高額150万円を上限に最長5年間給付します。

◎さん歩の駅サン・SUNさぬま指定管理業務 580万円

民間のノウハウを活用して、サービスの向上、経費の節減を図るため下妻市観光交流センターの管理運営を指定管理者に委託します。



5月15日オープン予定のさん歩の駅サン・SUNさぬま(建設中)

目標5 ともに力をあわせてすすむ自立協働都市を目指して
行財政運営

◎庁舎等施設建設基本構想策定事業 1,272万円

庁舎および周辺施設(文化会館、下妻公民館、保健センターなど)の再配置に係る基本構想の策定および庁舎建設検討市民会議を実施します。

◇第6次総合計画策定事業 776万円

平成30年度以降の10年間を見通す新たな行政運営の基礎となる「第6次下妻市総合計画」を策定し、新たなまちづくりの方針を明確にします。(平成28・29年度継続)

◎千代川庁舎空調設備交換工事 3,002万円

空調設備(大型吸収式冷温水機)は設置から20年が経過し、経年劣化による故障が懸念されるため、設備機材の入れ替えを行います。

◇市税等の徴収確保対策 1,322万円

市税等の徴収率低下を防ぐため、口座振替制度を促進するとともに、24時間可能なコンビニエンスストア収納やクレジットカード収納等により納付機会の拡大を図ります。

下妻市では、目指すべき将来の姿「輝く自然・あふれるやさしさ・活力みなぎるまち しもつま」と、まちづくりのみならず「目標」を示し、計画的な市政運営を進めていくため、第5次総合計画(計画期間・平成20(29年度)を定め、行政が実施するすべての施策についての方向性を示します。

予算は、その計画に沿った内容で組み立てられ、限られた財源の効率的・効果的な活用に努め、各種施策を進めていきます。

主な事業とその予算額を、第5次下妻市総合計画の5つの柱ごとに紹介します。

目標1 地域で支えあいやさしく暮らせる安全安心都市を目指して
保健・医療・福祉・防災等の推進

◎ブックスタート事業 30万円

乳幼児の健やかな成長を図り、親子の絆を深めるため、5か月児健康診査の会場で、絵本の読み聞かせの方法を伝え、絵本を無料で配布します。

◎学童保育事業 4,843万円

就労等により放課後の児童の保育が困難な保護者に代わり、市内16カ所の学童クラブで保育を実施します。

◎子育て支援拠点事業 1,368万円

地域の子育て支援機能の充実を図るため、子育て支援拠点事業を常設の「一般型」に加え、週1~2日開設の「出張ひろば型」として実施し、子育て親子の交流や子育て等に関する相談・援助、講習等を実施する子育て拠点を設けます。

《一般型》 高道祖地区(あうるくらぶ)

上妻地区(もみの木ふれあい広場)

《出張ひろば型》

地域交流センター「わいわいハウス」

◎保育所等施設整備事業 9,000万円

高まる保育ニーズに対応するため、新規認可保育園に対し新園舎建設費用の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることができる環境を整え、保育サービスの向上を図ります。(対象:大和保育園)

◎認可化移行運営費支援事業 1,038万円

認可保育所を目指す認可外保育所の支援として、運営に要する費用の一部を補助することにより、待機児童の解消を図るとともに、円滑に認可移行できるよう支援します。(対象:大和保育園)

◎5歳児発達相談事業 100万円

保育園や幼稚園などの集団生活の場で特徴が顕在化してくる発達障害について、5歳児発達相談を行うことにより早期に発見し、支援につなげます。

◎不妊治療費助成事業 220万円

不妊治療に係る経済的負担等の軽減のため、保険適用外の特定不妊治療(体外受精および顕微授精)を受けた方に費用の一部を助成します。平成29年度から男性の不妊治療に対しても助成を行います。

◎各種健康診査・各種がん検診事業 5,856万円

健康の保持・増進と疾病の発症予防のため、特定健診・特定保健指導などの各種健康診査や各種がん検診などを実施します。平成29年度から市の「胃がんバリウム検診」と併せて、ピロリ菌感染と胃粘膜の萎縮度を検査する「胃がんリスク検査」を実施します。※対象者要件あり

◎ハザードマップ作成事業 766万円

国・県管理河川の洪水浸水想定区域図が更新されることに伴い、新しいハザードマップを作成します。

目標2 豊かな自然に囲まれた生活環境都市を目指して
生活環境、都市基盤の整備

◎Waiwaiドームしもつま管理運営事業 1,733万円

砂沼周辺地区都市再生整備計画事業で整備された、下妻市にぎわい広場Waiwaiドームしもつまを活用し、まちなかの交流人口拡大を図ります。

◇コミュニティバス運行事業 1,218万円

新規コミュニティバスの運行を行い、公共交通手段の充実による市民の利便性の向上と中心市街地の活性化を図ります。



4月27日オープン予定のWaiwaiドームしもつま(建設中)

新しい介護予防・日常生活支援総合事業

(総合事業)が始まりました

介護保険法の改正により、65歳以上の全ての方を対象に、介護予防と日常生活の自立を支援する介護予防日常生活支援総合事業(総合事業)が創設され、多様なニーズに応じたサービスを提供できるようになりました。

市では、平成29年4月から「総合事業」を開始しました。総合事業開始により、これまで「要支援1・2」の認定を受けて利用していた介護予防サービスの一部(訪問介護と通所介護)がこの事業に移行します。今回は、「総合事業」の仕組みについて紹介します。



介護予防効果が期待できるシルバーリハビリ体操

総合事業開始の背景

団塊の世代が75歳以上になる平成37(2025)年に向け、単身高齢者世帯や高齢者夫婦のみの世帯、認知症高齢者の増加が予想される中、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で生活を続けることができるようにするためには、介護保険や行政サービスに加え、ボランティアによる支援や地域の助け合いなど、地域全体で高齢者を支えていくことが必要です。また、高齢者自身も、自分なりに社会での「役割」や「生きがい」を持つなど、介護予防に努めることが大切です。

総合事業の内容

総合事業は、「介護予防・生活支援サービス事業」と「一般介護予防事業」から構成されます。総合事業の開始に伴い、これまでよりサービスの選択の幅が広がり、一人一人の状況に応じたサービスを利用できます。

介護予防・生活支援サービス事業

対象
要支援1・2の認定を受けた方、事業対象者と判定された方

●訪問型サービス
ホームヘルパーによる身体介護や掃除・洗濯などの生活援助

●通所型サービス
通所介護事業所などでの生活支援、運動機能向上や栄養改善

●介護予防ケアマネジメント
心身や日常生活の状況に応じて、自立した生活を送ることができるよう、相談しながら、ケアプランを作成します。

一般介護予防事業

対象
65歳以上の全ての方

●地域介護予防活動支援事業
体操教室など地域の住民が主体となった介護予防活動の育成や支援を行います。

●介護予防普及啓発事業
介護予防活動の普及や啓発を行います。

●地域リハビリテーション活動支援事業
住民運営の通いの場などにリハビリの専門職が関わり、地域の介護予防の取り組みを支援します。

利用方法

総合事業のサービスを希望される方は、介護保険課(第二庁舎2階)にご相談ください。

心身や日常生活の状況を確認し、その状況によって、サービスや支援を受けたり、地域の介護予防教室などに参加したりすることができます。

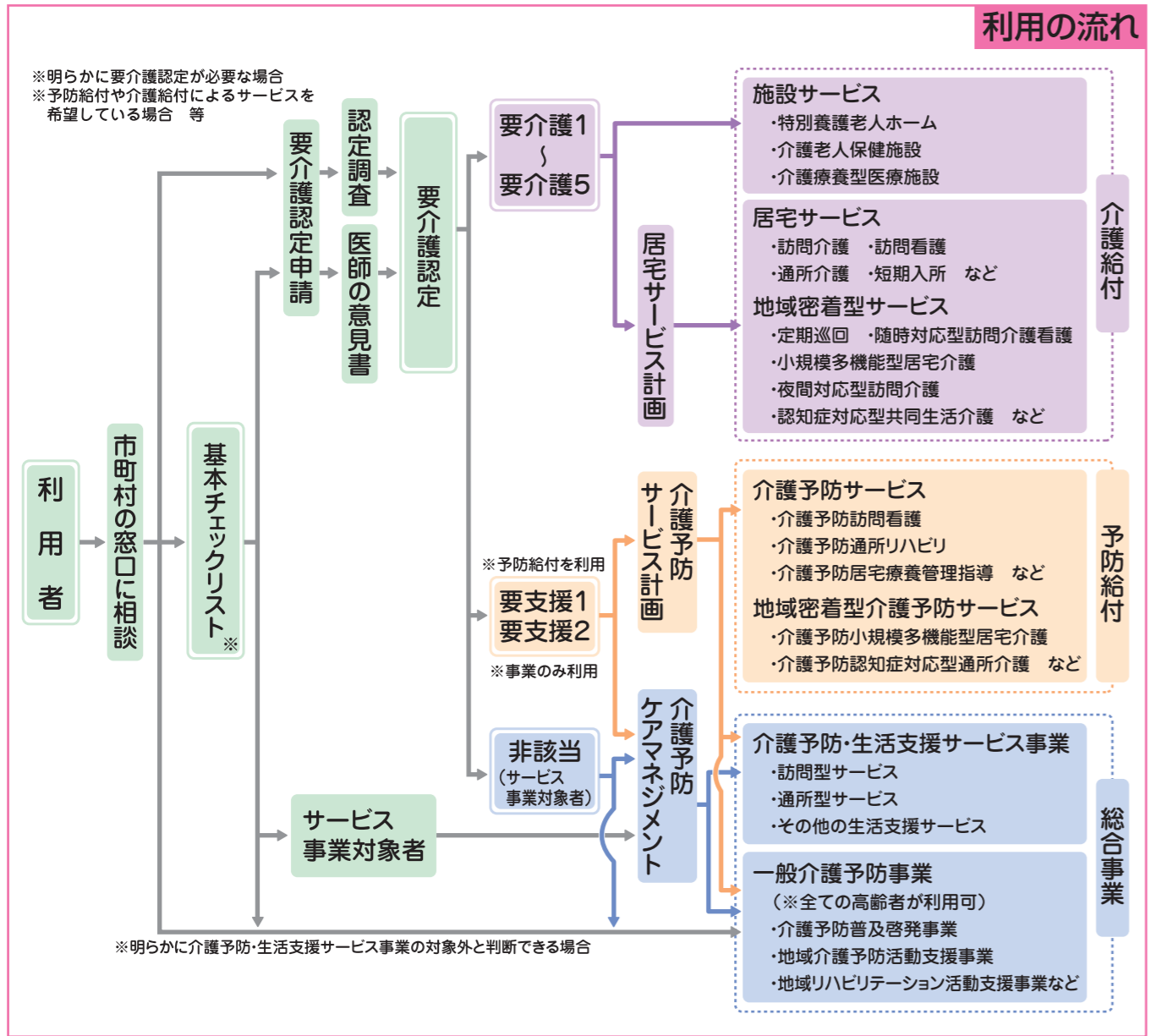
要支援認定を受け現在サービスを利用している方は、認定の有効期間中は継続して同じサービスを利用できます。

利用手続

訪問介護・通所介護サービスを利用されている「要支援1」「要支援2」の方には、基本チェックリスト(※)を実施して、サービス事業該当者になると、要介護認定を受けなくても、地域包括支援センターと契約し、ケアプランを立てることで、サービスを受けることができます。

基本チェックリスト(※)は、利用者本人の身体状況等を確認するもので、25項目の質問で構成されます。質問項目と併せ、サービス利用の意向を聞き取った上で振り分けを判断します。

利用の流れ



下妻市地域包括支援センターのご案内

下妻市地域包括支援センターは、介護保険課(第二庁舎2階)の中にあります。高齢者の皆さんが住み慣れた下妻市でいつまでも安心して暮らせるよう、保健師、主任介護支援専門員(ケアマネジャー)、社会福祉士などの専門職が総合的に支援していきます。

☎ 下妻市地域包括支援センター ☎ 43-8264 FAX 30-0011

☎ 介護保険課 ☎ 43-8338 FAX 30-0011

information

副市長に 野中周一氏を 再任



野中 周一 副市長

野中周一副市長（新堀）の任期満了に伴い、平成29年第1回下妻市議会定例会で同意を得て、同氏が副市長に再任されました。任期は平成29年4月1日から平成33年3月31日までの4年間です。野中副市長は、測量設計業務の民間会社に勤務した後、昭和49年に下妻市職員となり、建設課長、企画課長、経済建設部長などを歴任。平成25年4月1日から副市長として下妻市の行政運営に携わっています。

地域自治 問 市民協働課 ☎43-2114 FAX43-1960

宝くじ助成事業でコミュニティ活動を推進 -松岡自治会-

二本紀・松岡地区では、平成28年度の宝くじ助成を受けて、松岡公民館を新築しました。同公民館の竣工式が4月2日、地区住民など約70人が参加し、盛大に行われました。

地区代表の寺田良雄さんは「公民館が広く、きれいになり、使いやすくなってよかった。子どもからお年寄りまで多くの人が集まれる場所にしていきたい」と笑顔で抱負を語りました。

この助成は、宝くじの社会貢献事業としてコミュニティ活動に必要な施設、備品等を整備するために行われるもので、二本紀・松岡地区では、これまで以上にコミュニティ活動の活性化が期待されます。



新築された松岡公民館（木造瓦葺平屋建・床面積157.33㎡）

消防 問 消防交通課 ☎44-2119 FAX43-4214

下妻市消防団第1分団第3部に 消防ポンプ自動車が増備



最新機能を装備した消防ポンプ自動車と下妻市消防団第1分団第3部の消防団員たち

下妻市役所本庁舎前で3月16日、下妻市消防団第1分団第3部（下妻戊）に消防ポンプ自動車が増備され、引き渡しを行いました。

納車式で、稲葉市長は日頃の消防・防災活動に敬意と感謝の意を表し、昨年の熊本地震や台風迷走、新潟県糸川市の大火など全国各地で起こった災害を踏まえて、「市民の皆さんが、消防団の活動に寄せる期待は大きい。地域をしっかりと見守っていただきたい」とあいさつ。同消防団第1分団の司代直樹分団長は「市民の安全・安心に向けて、（新しい消防ポンプ車の）操作の熟達に努めてまいります」と力強く語りました。

この消防ポンプ車の購入には「ふるさと下妻寄附」（ふるさと納税）が活用されています。

有料広告欄

空き家バンク制度が始まりました

公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会と協定締結

問 企画課 ☎43-2113 FAX 43-1960

市は3月24日、公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会（張替武敏会長）と「下妻市空き家バンク媒介に関する協定」を締結し、4月1日から「下妻市空き家バンク制度」の運用を開始しました。

この制度は、市内の空き家の有効活用を通して、良好な住環境の確保と定住促進による地域活性化を図ることを目的に、市が空き家を「売りたい・貸したい」「買いたい・借りたい」という方の橋渡しを行う制度です。

市内に空き家をお持ちの方（近く居住しなくなる予定の場合も含む）で売却や賃貸を希望する方や、空き家を利用したい方は、ぜひ登録してください。登録料は無料です。登録が完了した物件は、市ホームページや市役所企画課窓口（本庁舎2階）で随時公開していきます。

詳細は、市ホームページをご覧ください。市役所企画課へお問い合わせください。

下妻市 空き家バンク媒介に関する協定締結式

—下妻市・公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会—



協定書に調印し、取り交わした稲葉市長（左）と張替会長（右）

- 注意**
- ① 老朽化が著しいものや大規模な修繕が必要なものなど、空き家の条件によっては登録できないことがあります。
 - ② 賃貸や分譲などを目的に建築された物件は、本制度の対象になりません。



空き家バンク

下妻市空き家バンク制度の仕組み



※利用申込みがあった場合、公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会の媒介により交渉となります。
※媒介業者の媒介には、宅地建物取引業法の規定に基づく媒介手数料が発生します。

教育 問 学校教育課 ☎44-0740 FAX43-9608

教育委員の任命



赤荻 由美 さん(若柳)

赤荻由美さん(若柳)が、平成29年第1回下妻市議会定例会で同意を得て、教育委員会委員に任命されました。任期は、平成29年4月1日から平成33年3月31日までの4年間です。

赤荻さんは、長年にわたり児童・生徒の教育相談や子どもについての悩みを持つ、親や保護者からの家庭相談員としてご尽力され、その豊富な経験と見識で、本市の教育の振興、文化の向上のためのご活躍が期待されます。

相談ごと 問 秘書課 ☎43-2112 FAX43-1960

行政相談をご存じですか

困ったら 一人で悩まず 行政相談



横瀬 靖彦 さん
(横根)



内田 邦夫 さん
(本宗道)

道路、年金、福祉など役所の仕事についての疑問や要望はありませんか。

市には、総務大臣から委嘱された2人の行政相談委員が活動しており、毎月2回の定例行政相談を開設しています。無料で相談でき、秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。定例相談の日時・場所は、広報しもつま(毎月10日発行)で案内しています。

平成29年4月1日付けで委嘱された再任の横瀬靖彦さん(横根)と安田勝さん(鯨)の後任として就任した内田邦夫さん(本宗道)を紹介します。任期は平成31年3月31日までの2年間です。

■定例行政相談

- ・千代川公民館(毎月第2金曜日 午後1時30分～3時30分)
- ・下妻公民館(毎月第3金曜日 午後1時30分～3時30分)

医療・介護 問 下妻市地域包括支援センター ☎43-8264 FAX30-0011

誰もが暮らしやすい下妻を目指して 地域の支え合い探る 「下妻市地域包括ケアシステム講演会」を開催

少子高齢化と人口減少が進む中、住み慣れた地域で最後まで自分らしい暮らしができるよう、「医療・介護・予防・住まい・生活支援サービス」などのサービスが一体的に提供される仕組みと地域づくりの取り組みを目指す下妻市は3月11日、「誰もが暮らしやすい下妻を目指して」と題した下妻市地域包括ケアシステム講演会を市立図書館で開催し、市民など110人が参加しました。



参加者に問いかけながら講演する長谷川氏(右)と外岡氏(左)

パネルディスカッションでは、長谷川氏を進行役に、各地域でセーフティーネットにつながる取組事例を3団体が発表。下妻スクエアステップの会は、マス目のあるマットを使った健康づくり、サロン陽だまりは、趣味・体操・ボランティアなどを通じた仲間づくり、数須自治会は、地域友好祭での世代交流による地域のつながりづくりの発表からは、地域の取り組みを応援する制度として、市民協働課の「市民協働のまちづくり推進交付金」や社会福祉協議会の「赤い羽根共同募金地域福祉助成金」などを活用する手法もあげられていました。



取組事例を発表したパネルディスカッション

講演会では、茨城大学教育学部特任准教授の長谷川幸介氏と茨城県社会福祉協議会地域福祉活動アドバイザーの外岡仁氏が、昨年に続くテーマ「地域包括ケアとこれからの下妻市民の幸せ装置～パート2～」の中で、「血縁、地縁、友縁、職縁の4つの縁が重要で、つながりがセーフティーネットとなるが、下妻には下妻らしいセーフティーネットを作る必要がある。市役所は市民の幸せを作る会社。幸せの形を大豆製品に例えるなら、納豆のような一粒一粒が違う色の、互いに糸を引き合う『虹色ナットワーク』ができる」と市民は幸せになれるのではないかと訴えた。地域のことは市民が一番よく分かっている、市民の知恵を市役所に集める仕組みが必要と訴えました。

下妻市地域包括支援センター(介護保険課内)では、「地域づくりを考える勉強会」を開催し、市民・社会福祉協議会職員・市職員と一緒に、暮らしやすい地域とはどんな地域か、どんな取り組みが必要かを考えています。興味・関心のある方を随時募集しています。

人事異動

4月1日付で市職員の人事異動を行いました。掲載は、課長級以上の職員、退職者および新規採用者です。()内は異動前の職名。

問 総務課 ☎43-2120 FAX43-4214

部長級

- 根本 桂一 総務部長 (市民部長)
- 大月 義男 市民部長 (総務課長)
- 飯村 晃 教育部参事兼指導課長 ※茨城県教育委員会から派遣

退職者(平成29年3月31日付)

- 木瀬 誠 (総務部長)
- 宇津野幸江 (学校教育課長補佐 兼ちよかわ幼稚園長)
- 引野 光郎 (保健センター所長補佐 兼健康増進係長)

課長級

- (市長部局) 飯田 薫 市民協働課長 (建設課長)
- (総務部) 杉山 照夫 総務課長 (税務課長)
- (市民部) 倉持 浩史 税務課長 (福祉課長)
- (保健福祉部) 寺田 武司 福祉課長 (市民協働課長)

新規採用者

- 中山 真里 企画課
- 大武 諄也 税務課
- 村井 健 福祉課
- 塚田亜優美 介護保険課
- 中川 顕徳 介護保険課
- 上野 雅代 介護保険課
- 佐藤 尚也 農政課
- 諸井芙美香 商工観光課
- 熊倉 一樹 建設課
- 田嶋 広大 都市整備課
- 蔵持 俊裕 上下水道課

有料広告欄



手紙などを渡しあい、別れを惜しみました
(東部中学校)

思い出胸に門出

市内各小・中学校で卒業式 3月10日(中学校)・22日(小学校)

市内3中学校で3月10日、卒業式が行われ、442人の生徒が自信と誇りを胸に学び舎を巣立ちました。

東部中学校の卒業式では、卒業生全員が学年合唱の「友～旅立ちの時～」を歌い出すと、会場からすすり泣く声も聞こえてきました。いつも一緒だった同級生や先生とも離れ、新たな人生の幕開けを迎えた卒業生は、未来をしっかりと見つめていました。

3月22日には市内9小学校で卒業式が行われ、410人の児童が次のステップへ進むための門出を迎えました。

高道祖小学校の卒業生42人による「門出の言葉」では、卒業生全員で在校生、先生、保護者に感謝の言葉を述べながらさらなる飛躍を誓いました。



卒業証書を母親に手渡しながら感謝の気持ちを伝える児童(高道祖小学校)



卒業生全員による別れのことは(高道祖小学校)



コシガヤホシクサの保護活動を語る宮本教授

コシガヤホシクサを取り巻く環境に関心を

コシガヤホシクサ講演会 3月12日

砂沼を最後の自生地として絶滅した植物・コシガヤホシクサの講演会が、下妻市立図書館で行われ、市民や自然保護の関係者など約70人が参加しました。市民、事業者、行政が協働して温暖化対策を推進する市民団体「STOP! 温暖化エコネットしもつま」が主催、「下妻自然観察クラブ」が協力しました。

講師となった東京農工大学の宮本太教授は、コシガヤホシクサにおける経過と現状、保護活動の必要性を説明する中で、生きものたちの豊かな個性とつながりを示す生物多様性を「未来の人が安全・健康に生きて行くために重要なこと」と話し、「たかが雑草ではなく、コシガヤホシクサを取り巻く環境に関心を持ち、できることから保護活動に取り組んでほしい」と訴えました。

砂沼でコシガヤホシクサの開花観察などに参加経験を持つ中里悠花さん(下妻小4年)は「コシガヤホシクサの保護活動をしている団体が一つではないと知れてよかった。これからは自分のできる保護活動に取り組んでいきたい」と抱負を語りました。

有料広告欄



子どもたちの調理を見守るパパたち

親子のふれあいや家事を行うことへの意識づけを目的とした料理教室が開催され、男性保護者とその子どもたち10組25人が、千代川公民館の調理室で、お菓子作りに腕を振るいました。

親子は、公民館でお菓子作り教室を運営する講師の指導のもと、「リンゴのパン」「クッキー」「プリン」の3品に挑戦。リンゴを炒める子どもを心配そうに見守ったり、包丁の使い方を背中越しに熱心に教えたりするやさしいパパの一面が見られました。

神郡つむぎさん(高道祖小3年)は「お父さんと一緒だからおいしい料理が作れた。今度はお母さんに作ってあげたい」と笑顔でした。

男女共同参画推進事業
「パパとクッキング」3月5日

パパと一緒にスイーツ作り



ポピーと雑草を間違えないよう丁寧に手作業で除草するボランティア会員たち

下妻市の小貝川河川敷に広がる小貝川ふれあい公園の花畑で、地元自治会や市内企業、まちづくり団体などから参加した小貝川ふれあい花の会のボランティア会員など約600人が、きれいな花を咲かせようと草取りに汗を流しました。

5月中旬～下旬には3.2ヘクタールの広大な花畑一面に、300万本の色鮮やかなポピーやキンセンカが期待されます。

5月28日(日)には、同花畑を会場に「小貝川フラワーフェスティバル2017」が開催されます。

満開のポピーを期待して
小貝川ふれあい公園花畑除草作業 3月18日



地域鉄道への親しみと理解にアプローチ

関鉄レールメイトが出張型読み聞かせ会 3月9日

関鉄レールファンクラブと関東鉄道株式会社の共同による絵本の出張型読み聞かせ会が上妻幼稚園で行われました。関鉄レールメイトで常総北線を担当する大田郷美さんの読み聞かせに、園児23人が聞き入りました。

読まれた絵本は、公共交通のルールとマナーをテーマにした関東鉄道のオリジナル絵本「ゆいちゃんのおくりもの」。下妻駅や小貝川ふれあい公園のネイチャーセンターなど身近な施設が絵本の世界に登場すると、園児たちは驚きを見せ、身を乗り出していました。

読み聞かせの後には、〇×クイズを楽しみながら、公共交通のルールとマナーを学んだ園児たち。「今日覚えたことに気をつけて、鉄道やバスに乗ってね。おうちの人も教えてあげてください」との大田さんの呼びかけに、大きな声で返事をする園児の姿がありました。

市では、関鉄レールファンクラブの地域公共交通利用促進活動事業に協力しながら、事業の一環として低年齢層への地域鉄道の認識と理解を育むアプローチを進めています。



関鉄レールメイトの読み聞かせに聞き入る園児たち

有料広告欄

わがやのにんきもの

このコーナーでは、市内在住の1〜3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎43-2112】までご連絡ください。



ゆま 飯田 結麻ちゃん

節大・友里さんの長女 本宗道

1歳8カ月になり、しっかり意思表示できるようになりました。歌ったり、踊ったりすることも大好きなゆまちゃん。一緒に生活しているわんちゃんとも仲良しです。

これからもいっぱい笑って、いっぱい泣いて、元気で優しい子に育ってね。ゆまちゃんの笑顔は宝です。



みお 笠島 滯ちゃん

靖裕・南さんの長男 高道祖

「皆さま、こんにちは。このたび地球にやってきた滯です。身長は大きめ、体重も重め。好きな食べ物はバナナです。えーと、あとはお姉ちゃんのほっぺをペチペチするのが好きです。こんな僕ですが、よろしくお願います」。



青柳 すずちゃん

和哉・亜弥子さんの長女 鯨

青柳家で54年ぶりの女の子。1歳を迎え、気付いたらずいぶんいろんなコトができるようになり、パパとママは感動と驚きの連続です。そんなすずは、家族みんなのアイドルであり、大切な宝物です。

これからもたくさん笑顔を見せてねえ。そして、これからも楽しい思い出を作っていこうねえ！

みんなのギャラリー

きぬ保育園

春 満開



春の壁面制作では、桜の木に囲まれたクラスのお友達を作りました。折り紙が苦手な子には得意な子が教えたり、「○○くんの服がかわいいね!」と友達同士で作品を認め合ったりしながら楽しそうでした。桜の木は3種類のスタンプを友達と貸し借りしながら、ペタペタ♪ポンポン♪みんなで仲良く押ししました。



▲年長児めろん組の皆さん

口頭詩

子どもの純粋な心のつぶやき



ささき しょう 4歳6カ月時点 (大宝幼稚園)

おなかいっぱい しゅちゃんのおなかでね ウィンナーとごはんを いちごとジュースが けんかしているかも だてて おなかいっぱいなんだもん

【解説】 朝食を食べ終えた時の言葉です。 食べた物がけんかという表現や、けんかしているからおなかがいっぱいという表現がとても可愛く思えました。 採集 母 佐々木 美香

市民文芸

俳句

いづかたも吾には恵方なりにけり 棟梁の披り鉢巻き風光る 丁字の香居間と厨と仏間にも

平石 律子(下田) 小林 紫水(唐崎) 木村まり子(加養)

短歌

何かしら良き事あらむ日光も 富士も筑波も凜として見ゆ ストープにやかんの滾る夜半冴えて 締め切り迫る歌の稿練る 寒禽の鳥語はじける一樹あり 千ル千ルに心わき立つ

倉田 淑子(原) 須藤恵美子(前河原) 関 千代子(下妻乙)

「意識変革」

わたしからあなたへ

さわやかリレー vol.135

前回登場の園部正博さんからの紹介



野村 尚仁さん(鯨)

下妻(旧千代川村蚕飼地区)に生まれ育ち35年、今では妻と子どもも2人授かり順風満帆とは言えずとも、幸せに暮らしております。実家が創業70年続く屋根工事を営んでいることから、幼少期から将来は親の仕事を引き継ぐのだと感じつつ成長し、他の業種を見ることがなく今日までに至ります。そんな環境の中でも意識変革をもたらしつづけるのが、地域に根づいた各種団体の集まりです。まず1つ目は、市民の生命と財産を守る消防団活動です。地元同世代と月に1回程度のさまざまな活動をしております。

2つ目は、青年会議所運動です。下妻を中心とした地域の活性化を第一に考え、自己成長、青少年育成、奉仕の精神をもって運動をしている異業種団体です。入会する前は、自分さえ良ければ良いという考えから街のことは一切無関心でした。しかし、一つ一つの運動から少しずつではありますが、自己成長を実感しているところではあります。最後に、子どもたちには、私の幼少期とは少子高齢化の問題から学校環境も異なりますが、将来住み暮らす街が大好きと言えよう成長してほしいと思っております。

有料広告欄

有料広告欄

◆行政相談

時 5月12日(金) 午後1時30分～3時30分
 所 千代川公民館 1階 小会議室
 時 5月19日(金) 午後1時30分～3時30分
 所 下妻公民館 1階 和室
 問 秘書課 ☎43-2112 FAX 43-1960

◆人権相談

時 5月19日(金) 午後1時30分～3時30分
 所 下妻公民館 2階 小会議室
 問 人権推進室 ☎43-8246 FAX 43-6750

◆こころの健康相談

時 5月10日(水)・24(水)午後1時～4時(予約制)
 所 市役所第二庁舎 3階 小会議室
 問 福祉課 ☎43-8352 FAX 43-6750

◆消費生活相談

時 月・火・木・金曜日(毎週)
 午前9時～正午 午後1時～4時30分
 日曜日(5月28日) 午前9時～正午
 所 下妻市消費生活センター(千代川庁舎内)
 問 下妻市消費生活センター ☎44-8632 FAX 43-9370

◆納税相談

・夜間納税相談
 時 5月11日(木) 午後5時30分～7時30分
 ・休日納税相談
 時 5月28日(日) 午前8時30分～午後5時
 所 市役所本庁舎 1階 収納課
 問 収納課 ☎43-8274 FAX 44-9411

◆法律相談

時 5月9日(火)・16日(火)・23日(火)
 午後1時30分～3時30分 ※事前予約必要(当日不可)
 所 5月9日(火) 市役所本庁舎 3階 中会議室
 5月16日(火) 市役所第二庁舎 3階 大会議室
 5月23日(火) 下妻公民館 2階 学習室
 問 下妻市社会福祉協議会 ☎44-0142 FAX 44-0559

人口と世帯 4月1日現在の常住人口 ()=前月比

人口	42,791人	(-76)
男	21,383人	(-48)
女	21,408人	(-28)
世帯数	15,327世帯	(+17)

☎ テレホンサービス

◆火災・災害のとき ☎0296-44-3111
 ◆市役所などの行事・催物 ☎0296-43-4000

f 下妻市公式Facebookページ



健康カレンダー Health Calendar 5月1日～5月31日

問 保健センター ☎43-1990 FAX 44-9744	
5/1 月	小 西南
2 火	小 西南
3 水	夜 小 西南 在 宇津野医院 ☎45-0311
4 木	夜 小 西南 在 菊山胃腸科外科医院 ☎44-2014
5 金	夜 小 古河 在 中山医院 ☎43-2512
6 土	夜 小 西南
7 日	夜 小 友愛 在 下條整形外科 ☎43-3666
8 月	小 西南
9 火	小 西南 元気アップ教室 9:15～10:00 2歳児歯科健診(平27.3月生) 13:15～13:30
10 水	小 西南
11 木	小 西南 すくすく相談(予約制) 13:30～
12 金	小 古河 5か月児健診(平28.11月生) 13:15～13:30 びよびよ教室 10:00～10:30
13 土	夜 小 西南
14 日	夜 小 古河 在 坂入医院 ☎43-6391
15 月	小 西南
16 火	小 西南 特定健診(基本健診) 9:30～11:30 13:30～15:00
17 水	小 友愛 特定健診(基本健診) 9:30～11:30 13:30～15:00
18 木	小 西南 3歳児健診(平26.2月生) 13:15～13:30 しもつまウォーク 9:30～10:00 小貝川ふれあい公園 上流コアゾーン
19 金	小 古河 1歳6か月児健診(平27.9月生) 13:15～13:30
20 土	夜 小 西南
21 日	夜 小 友愛 在 軽部病院 ☎44-3761
22 月	小 西南 特定健診(基本健診) 9:30～11:30 13:30～15:00
23 火	小 西南 特定健診(基本健診) 9:30～11:30 13:30～15:00 千代川公民館
24 水	小 西南 特定健診(基本健診) 9:30～11:30 13:30～15:00 千代川公民館 後期マタニティクラス(予約制) 13:15～13:30 ママサロン 13:30～15:30
25 木	小 西南 特定健診(基本健診) 9:30～11:30 13:30～15:00 千代川公民館 すくすく相談(予約制) 13:30～
26 金	小 古河
27 土	夜 小 西南
28 日	夜 小 西南 在 湖南病院/とき田クリニック ☎44-2556
29 月	小 西南
30 火	小 西南 特定健診(基本健診) 9:30～11:30 13:30～15:00
31 水	小 西南 カミカミ離乳食教室(予約制) 13:15～13:30 ※場所の記載がないものは下妻保健センター

在 休日在宅当番医 午前9時30分～午後4時
 夜間応急診療所 下妻保健センター内 ☎43-1990
 土・日・祝日(12月29日、1月1日を除く):午後7時～翌朝7時

小 小児救急当番医
 月・火・水・木・金・土曜日:午後6時～午後11時
 日曜・祝日:午前9時～午後4時

小児輪番病院は、入院治療を必要とする子供の救急医療を行っています。受診される際は、医療機関に必ず事前に電話でご相談ください。
 ・西南…茨城西南医療センター病院(境町2190) ☎0280-87-8111
 ・友愛…友愛記念病院(古河市東牛谷707) ☎0280-97-3000
 ・古河…古河赤十字病院(古河市下山町1150) ☎0280-23-7111

茨城子ども救急電話相談
 毎日の夜間…午後6時30分～翌朝8時
 休日の昼間…午前8時～翌朝8時
 休日=日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
 プッシュ回線の固定電話、携帯電話からは、局番なしの#8000
 その他の電話からは☎029-254-9900

茨城県緊急医療情報コントロールセンター
 休日や夜間に救急対応している 年中無休/24時間
 小児科医療機関をお探しのとき ☎029-241-4199



公共施設の在り方・方向性を討論 持続可能な公共サービスへ「公共施設を考える市民シンポジウム」を開催

問 財政課 ☎43-2235 FAX 43-4214
 公共施設の保有量(延床面積)を今後30年間で30%削減することを目標とする下妻市は3月12日、「下妻の未来をみんなで考えよう」と題した市民シンポジウムを、千代川公民館で開催し、市民など80人が参加しました。平成28年8月から4回にわたり開催された「公共施設を考える市民ワークショップ」に参加したメンバー3人と稲葉市長がパネラーとなり、公共施設の在り方・方向性をテーマに討論しました。

市民シンポジウムでは、首都大学東京客員准教授の李祥準氏が基調講演を行い、経済が停滞、人口が減少する中で、公共施設が増え続ける不均衡な現状をあげ、「行政と住民と一緒に考えることが必要。重要なのは施設ではなく、その機能に注目し、残したものを良いものとして守っていく。少し不便になることも我慢しなければならない」と述べ、公共施設マネジメントにあわせて、市民の理解と協力が必要であると説きました。
 続くミニパネルディスカッションでは、李准教授を進行役に、市民ワークショップに参加したメンバーの中から、石島広基さん、大林守さん、柴山勝人さんの3人と稲葉市長が、公共サービスの在り方などの意見を出し合いました。同メンバー3人は、ワークショップを通して感じたことについて「無駄であるとして施設を無くすと、地域間の公平性が損なわれる。企画的なことを盛り込んで活用していくことが重要」「民営と市営を分けて施設運営をしていくことが必要」「合理的に多目的サービスを提供するとともに、維持費など20年後のコスト検証が求められる」などと意見を述べました。
 稲葉市長は「学校建設などの建設費用には、国や県の補助金等を活用するよう努めている。課題は既存施設をどう減らしていくかで、住民感情もあり難しい。市の状況は市民に伝え、話し合い、意見に耳を傾け反映していきたい」と、情報共有の重要性と市民との対話を強調しました。

最後に李准教授は「新しいものをつくるのは見えて分かりやすいが、財政が悪化しては意味がない。行政は経営を健全化していくのが大事。住民は、そういう点で正しい方向に向かっていくのを見ていく必要がある」と訴え、総括しました。



SIMON♡Sが寸劇で市の取り組みを紹介
 公共施設に関する市の取り組みを分かりやすく紹介しようとして、下妻市女性団体連絡会のメンバーが運営する劇団「SIMON♡S」が寸劇を披露。広報しもつまに書かれた市の公共施設の実態から、それぞれの思い、市の取り組みなどの意見が交錯する一家を演じ、「何事も市にまかせっきりでなく、みんなで知恵を出し合うことが大事。特に公共施設はな」と顔を見合わせ、未来の公共施設をみんなで考えていく必要性を呼び掛けました。



公共施設マネジメント

市では現在、「下妻市公共施設再配置計画【1期】」を策定しており、今後の公共施設の再編に向けた取り組みを進めます。公共施設等マネジメントに関する計画や市民参画など情報は、市ホームページや広報しもつまでお知らせします。

有料広告欄